

第77期：環境方針・目標計画（兼報告書）					
【私たちは、「企業理念」および「オルガンCSR：環境方針」に基づき、以下の「環境目標」を掲げ、環境に関する重点課題として活動する】					
【企業理念】 独自技術をもつ針造り企業である歴史を尊びながら、自ら市場と社会の要請を洞察して、誠実に対応する。 この企業活動が、企業と社員、そしてお客様の成長・豊かさにつながり、良い循環を生み出していき、そういう企業でありたい					
【環境方針】 私たちは、グローバルに展開するもの造り企業グループとして、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境保全と企業成長の両立を目指します 【順守評価】 指針①：環境に関する法令を遵守し、材料の選定から製造、流通、使用、処分に至るライフサイクル全体における環境への影響を配慮した製品の開発と提供に努めます 【リスクおよび機会への対応】 指針②：すべての事業活動を通じ、資源の有効利用及び化学物質の管理など環境保全につながる活動に重点を置いて取り組みます 【リスクおよび機会への対応】 指針③：環境意識の向上を図り、全社員が積極的に環境保全活動に取り組みます 【著しい環境側面】 指針④：環境への影響の評価を定期的に行い、環境マネジメントシステムを利用した継続的改善に努めます					
【以下、1～3は年度計画の取組みとして管理する事項】					
全社中期環境目標（目指すゴール）				全社目標値	
製品ライフサイクル全体を通じて化学物質や廃棄物の環境に配慮した管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小限に抑えるため、大気・水・土壌への有害な化学物質・危険物の使用と放出の最小化、また3R(ゴミを減らし、再利用し、資源化すること)で廃棄物の放出を大幅に減らすことで、水質を改善する《循環型社会》				油脂類・有機溶剤・PCBの漏洩事故：0件	
1	第77期（2025年度）	全社目標値	部門・事業所の課題と目標値		
	年度環境目標		担当本部	年度最重点課題	目標値
	(活動)水系生態系の保護・回復 ➡危険薬品/油脂類の切替または低減		開発本部	・化学リスクアセスメント実施と高リスク項目の漏洩リスク確認と予防措置実施	漏洩リスクゼロの対策実施
			本社事業所安全衛生委員会	・危険物貯蔵所の保管パトロールによる漏洩事故未然防止 ➡指摘事項に対する是正対応	是正率100%
			技術開発センター安全衛生委員会	・有害物質（洗浄液：ジクロロメタン、人体影響大スプレー液）の代替え促進	代替品候補の選定完了
全社中期環境目標（目指すゴール）				全社目標値	
資源利用率の向上とグリーンで環境に配慮した技術・産業プロセスの導入を拡大し、産業を持続可能とする				廃棄物の発生量を2022年度比▲10%削減 全体廃棄物のうちリサイクル率を80%以上	
2	第77期（2025年度）	全社目標値	部門・事業所の課題と目標値		
	年度環境目標		担当本部	年度最重点課題	目標値
	(活動)グリーン調達・サプライヤー管理 ➡環境配慮型のサプライヤーを優先選定 (製品)製品ライフサイクルの見直し ➡製品の開発から廃棄までの環境負荷を評価(低減策検討)		開発本部	品質課題改善による製品製造歩留まりの向上	各製品合わせて1件
			物流本部	環境にやさしい梱包資材の提案	上期2件/下期2件
全社中期環境目標（目指すゴール）				全社目標値	
誰もが安全に暮らせて、災害に強いまちや地域をつくること、大気汚染を防ぎ廃棄物を管理して都市の環境を改善する				温室効果ガス排出量(CO2排出量)：2022年度比▲5%(2350 t/年以下)	
3	第77期（2025年度）	全社目標値	部門・事業所の課題と目標値		
	年度環境目標		担当本部	年度最重点課題	目標値
	(活動)カーボンニュートラルへの取り組み(地球温暖化への貢献) ➡自社内でのCO2吸収活動（植林・カーボンオフセット活動）		経営企画室	定型業務（外部審査・MS監査）の工数削減による使用電力削減（76期工数削減実績の30%）	工数年間24H+G29:G40削減＊使用電力（モニター+PC＝0.03kwh） ＝年間0.72kwh ▲3kg/年(削減)
				押印申請書の電子化によるペーパーレス実現	75件＊A4紙1枚＝75枚（76実績推定）→0枚
			開発本部	各承認フローと押印、データ保存の電子化によるペーパーレス推進継続	前期比5%削減
			営業本部	環境関連教育の実施	年1回
			物流本部	サーバーの統廃合による消費電力削減	削減台数：5台/年 ▲2t/年(削減)
				購買業務支払通知書のペーパーレス化	取引先の電子化完了
				本部内環境教育の実施	年1回実施（上期）
			総務本部	(総)LED照明切替え(2027年問題)	・LED交換箇所：CO2排出量 (事務所棟：▲1.37 t)
				(人)デジタル申請の推進	・電子化数：+4件 (CO2：▲0.98kg+a)
				(経)業務効率化による労働時間削減	・削減率：前年比▲10% (▲50H/年 ➡CO2▲5.6kg/年(削減) ・・・PC+モニター)
			本社事業所安全衛生委員会	CO2排出量の削減 (テクニカルセンター：重油温風暖房機→EHP空調機、蛍光灯→LEDで▲71 t) (第二工場：蛍光灯→LEDで▲9 t)	▲80 t/年(削減)
			技術開発センター安全衛生委員会	・敷地の緑化推進 「つつじの植樹と整備」➡植樹10本/年	▲0.06t/年(削減) 整備1回/年